

本誌2月号の特集は「Spinal dysraphism—最近の知見」でした。二分脊椎の患児にとっては、神経外科のみならず、整形外科、泌尿器科、もちろん小児科、そしてリハビリテーション科など多岐にわたる専門家によるチーム医療なくしては考え得る最高の成長を遂げることが難しいです。最近では、このようなチーム医療の必要性から「ゆるやかなセンター化」が各病院で試みられていますので、患児にとっては、良質な医療を受けられるチャンスが広がったことと思います。また、過去10年余りを振り返りますと、立位・歩行補助装置や排尿機能障害に対する治療などについても、長足の進歩がみられているかと思えますし、将来的には再生医療の参画が期待される分野の1つでもあります。

本疾患の問題点の1つは、患児は親の事情などで住居などを移動することがまれならずあり、臨床情報を共有したうえにある質の良い医療を継続的に受けることができなくなる恐れがあることです。本疾患は決して小児期で完結するわけではなく、継続的な経過観察やリハビリテーションなど多方面からのバックアップと詳細で正確な医療連携が必要です。

本誌で13年ぶりに組まれたこの特集では、誌面の関係で諸問題すべてを網羅することはできませんでしたが、主たる分野での最近の知見が紹介されています。脊椎脊髄疾患の現場に携わるわれわれ臨床家が再度この複雑な疾患の理解を深めることは、先に述べた医療連携の意味からも、とても重要であると思っています。われわれの懐が深く広がり、よりよいチーム医療を継続的に供することで、何の罪もないのにハンディを負ってしまった患児が幸せに育っていつてくれることを願っています。

(谷 諭)

論文外部審査委員

朝妻孝仁 嶋村 正 高橋和久 高橋啓介 松永俊二
持田譲治 山下敏彦 久保和親 庄田 基 水野順一

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

長島親男 小野啓郎 萬年 徹
高橋 昭 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

戸山芳昭 (編集委員長)
青木茂樹 安藤哲朗 金 彪
園生雅弘 高安正和 田口敏彦
谷 諭 徳橋泰明 花北順哉
飛驒一利 松山幸弘 米延策雄

Vol. 28 No. 2
(2015年2月25日発行)

毎月1回25日発行

1部定価 (本体2,300円+税)

(配送料別)

年ぎめ予約購読料30,700円+税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2015,
Printed in Japan

JCOPY (社)出版者著作権管理機構 委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。